

配賦・按分・割賦の 違いと基礎知識



※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2026年1月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

配賦・按分・割賦の違いと基礎知識

配賦・按分・割賦の定義と根本的な違い

3つの用語の定義

・配賦（はいふ）：オフィス賃料や光熱費などの共通費を、一定の基準で各部門へ振り分ける社内処理。

・按分（あんぶん）：モノやお金を、基準に従って分けることそのものを指す。

・割賦（かつぶ）：商品代金や税金などを分割して支払うこと。

比較一覧表

項目	処理の対象	主な目的	外部支払の有無
配賦	社内の共通費用	部門別の原価・利益把握	なし（社内処理）
按分	費用、資源、物品等	基準に基づいた公平な分配	ケースによる
割賦	商品代金、税金	支払負担の分散（分割払）	あり（第三者へ）

配賦・按分・割賦の違いと基礎知識

配賦と按分の違いと実務上の関係

「一定の基準に従って分ける」という共通点を持つ2つの用語の境界線を整理します。

処理の範囲における違い

- ・ **按分（計算のプロセス）**：基準（比率や数量）に基づいて数値を「分ける計算」そのものを指します。
- ・ **配賦（割り当ての実行）**：按分で出した計算結果を、特定の部門や製品に「紐づける（割り当てる）」実務までを指します。

利用目的による使い分け

- ・ **按分の目的**：「全体を公平に分けたい」ときに使用。（例：共同購入費の人数分担など）
- ・ **配賦の目的**：「真の原価・利益を算出したい」ときに使用。間接費を各部署に負担させることで、正確な経営判断を可能にします。

配賦・按分・割賦の違いと基礎知識

配賦・按分と割賦の違いと判断基準

配賦・按分が「内部的な分け方」であるのに対し、割賦は「外部への支払い」に関する概念です。

支払い義務の有無による違い

配賦・按分：社内の管理上の計算

あくまで自社内での管理上の処理です。これによって会社が外部に支払う総額や契約内容が変わるわけではありません。

割賦：外部との契約に基づく支払い

販売元や金融機関等との契約に基づき、支払うタイミングを分ける行為です。外部に対して法的な支払い義務を伴います。

正しい用語の判断基準（まとめ）

- ・「部署ごとの正確な採算を測りたい」 ⇒ 配賦（基準による按分を用いる）
- ・「特定の数値を比率通りに分割したい」 ⇒ 按分
- ・「高額な代金を分割払いにしたい」 ⇒ 割賦